

国際交流センターだより

TOPICS: 海外リサーチ・クラークシップ成果報告

海外リサーチ・クラークシップ参加後に研究活動を継続している本学学生(未来基礎医学所属)の研究成果が、共著論文として発表されました。

ご指導を賜りました梅溪通久先生(米国・ヒューストン大学)、高里実先生(理化学研究所)をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

FASEB Journal

doi: 10.1096/fj.202002077R (オンライン掲載)
27-Hydroxycholesterol regulates human *SLC22A12* gene expression through estrogen receptor action.
坂口義彦(医学科6年)、長田理瑚(医学科5年)

MESSAGE

ヒューストン大学
Assistant Professor

梅溪 通久

この度、私達の共同研究の成果が FASEB Journal に掲載されました。私は 2019 年夏に奈良県立医科大学を訪問し、森先生や筆頭著者の松林さんや坂口さんなどラボの方々とディスカッションさせて頂き、皆さんの研究に対する熱意に感銘を受けました。この共同研究を通じて、国際的な研究者として活躍されることを期待しています。



ジャーナルに掲載されて ～海外リサクラとその後の研究活動を通して経験したこと～

医学科6年
坂口 義彦



海外リサクラでシンガポールの南洋工科大学に、その後の研究は本学の未来基礎医学でお世話になって、研究活動を行ってきました。大学の海外リサクラという制度を利用した留学から始まった私の研究活動ですが、初めは研究といっても漠然としてぼんやりとしたものでした。しかし、6年生の今では2年生のリサクラ前の当時では想像がつかない輪郭が徐々に見えるようになってきました。今後、更にどう鮮明になっていくかが大変楽しみです。留学時に金銭的な支援を頂いた未来への飛躍基金、留学中にお世話になった南洋工科大学の田代歩先生、今まで本学の研究で御指導いただいた森先生をはじめとする多くの先生に感謝申し上げます。

医学科5年
長田 理瑚



海外リサクラで台湾大学に留学させていただき、その後は未来基礎医学でお世話になり研究活動を行っています。留学中には、様々な実験や英語でのプレゼンを経験させていただきました。また、研究室の方々とお話することで台湾の文化に触れることもでき、大変有意義な留学生活でした。未来基礎医学では今回のプロジェクトをはじめ、様々な研究プロジェクトに参加させていただいており研究の面白さを感じています。この場をお借りして、留学時にご支援をいただいた未来への飛躍基金、森先生をはじめとする未来基礎医学の先生方に感謝を申し上げます。

MESSAGE

国際交流センター
副センター長
森 英一朗

(未来基礎医学准教授)

本論文は、大学院生の松林成也さんと医学科6年生の坂口さんが共同筆頭著者として取り組んだ研究成果になります。米国・テキサス州・ヒューストン大学の梅溪通久先生と理化学研究所の高里実先生との共同研究によって、研究成果をまとめることが出来ました。医学科5年生の長田理瑚さんも、論文投稿プロセスを通じて、本プロジェクトに参画しました。海外リサーチ・クラークシップの経験を経て、プログラム参加後も積極的に研究活動に取り組み、学会発表や論文執筆に取り組む姿は非常にたくましく、本学の研究マインド醸成教育の取り組みが着実に実を結んでいることを実感できます。



安全保障輸出管理への取り組みがスタートしています

安全保障輸出管理とは

安全保障輸出管理とは、日本を含む国際的な平和及び安全の維持を目的として、武器や軍事転用可能な貨物(装置・試料等)及び技術を大量破壊兵器の開発等を行っている国やテロリスト等の手に渡ることを防ぐための管理制度です。本学では、令和2年4月1日からスタートしました。

学内手続きの流れ

大学には関係ない規制と思われるがちですが、例えば研究活動においては、技術提供や貨物輸出の機会があり、規制の対象となります。

学内における管理手続きとしては、取引をおこなう教職員各自が事前確認チェックを行い、チェックシート等を所管課に提出してください。様式等は学内ホームページ▶国際交流センター▶安全保障輸出管理に掲載しています。

■審査受付の状況 (令和2年12月28日現在) (件)

	輸 出			受 入	合 計
	海 外	国 内			
		貨 物	技術の提供		
教養教育		2	20		22
基礎医学		6	412		418
臨床医学	1	5	1,015	14	1,035
看護学科			16		16
中央部門			56	1	57
寄附講座等			24		24
その他			47	1	48
総 計	1	13	1,590	16	1,620

お問合せ：国際交流センター (内線 2565、2479)